

教科〔社会公民〕第〔3〕学年		年間指導計画
*到達目標		月 学習内容
<p>(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。</p> <p>(2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。</p> <p>(4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>		<p>4 6章 二度の世界大戦と日本 導入 ①第一次世界大戦と日本 ②世界恐慌と日本の中国侵略 ③第二次世界大戦と日本まとめ</p> <p>5 7章 現代の日本と世界 導入 ①戦後日本の発展 ②新たな時代の日本と世界 まとめ</p> <p>6 身近な地域の歴史</p>
<p>*評価の観点・方法</p> <p>①関心・意欲・態度(授業ノート、ワーク、ファイル、小テスト) 現代の政治的・経済的・社会的な事象について興味・関心を高め、公民で学習することは、他人事ではなく自分と関係があるという意識を持つ。</p> <p>②思考・判断・表現(定期テスト) 現代の政治的・経済的・社会的な事象について、その背景や私たちの生活とのかかわりについて理解し、説明することができる。</p> <p>③技能・表現(定期テスト、夏休み課題) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・インターネットなどあらゆる方向から情報を取り入れたり、資料や統計から情報を読み取り、それをもとにさらに自分の考えを発展させていくことができる。</p> <p>④知識・理解(定期テスト) 現代の政治的・経済的・社会的な事象について、必要な基本用語を身につけている。</p>		<p>7 1章 現代社会とわたしたちの生活 ①現代社会とわたしたち ②わたしたちの生活と文化</p> <p>9 ③現代社会の見方や考え方</p> <p>2章 人間の尊重と日本国憲法 ①人権と日本国憲法 ②人権と共生社会 ③これからの人権保障</p> <p>10 3章 現代の民主政治と社会 ①現代の民主政治 ②国の政治のしくみ ③地方の政治と自治</p>
<p>*使用教材</p> <p>(1)教科書 新しい社会 公民 東京書籍 (2)ワーク 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク 公民 東京書籍 3年間の総復習問題 社会 創育</p>		<p>11 4章 わたしたちの暮らしと経済 ①くらしと経済 ②生産と労働 ③価格の働きと金融 ④国民生活と福祉</p>
<p>*学習上の注意・助言</p> <p>○授業道具を忘れない。</p> <p>○授業中、先生の説明をよく聞き、積極的に発言する。 ・発言(質問)をする時は、挙手をして発言する。 ・みんなが聞き取れるような声で発言する。 ・発言を求められてわからない時は、「わかりません。」「もう少し時間を下さい。」などはっきり言う。 ・発言者の意見は最後まで聞く。聞き終えてから次の発言をする。</p> <p>○授業の中で、疑問に思ったことやわからないことがあれば質問する。</p> <p>○考える問題の時は、教科書や資料を活用して、自分の考えをしっかりと持ち、話し合いの場面では、自分の考えをはっきり言う。</p> <p>○授業の内容をノートに記録する。その際、板書だけでなく、先生の説明・自分の考えや授業の感想などもまとめておく。</p>		<p>12 ①くらしと経済 ②生産と労働 ③価格の働きと金融 ④国民生活と福祉</p> <p>1 ④国民生活と福祉</p> <p>2 5章 地球社会とわたしたち ①国際社会と世界平和 ②国際問題とわたしたち</p> <p>3 ②国際問題とわたしたち</p>
<p>*家庭学習の仕方</p>		

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1)教科書を理解しながら読む。わからない語句などがあれば辞典などで調べる。(2)テレビ・新聞などのニュースや社会事象などに関心を高める。(3)重要語句は覚える。(4)自分の生活との関係を意識する。 | |
|--|--|